

中国四国支部 活動報告

松尾 厚(山口県立山口博物館)・松村雅文(香川大学)

An Annual Report on the Activities of Chugoku-Shikoku Section

Atsushi Matsuo(*Yamaguchi Museum*) and Masafumi Matsumura(*Kagawa University*)

Abstract

Activities of Chugoku-Shikoku section in 2005 are briefly described.

2005年度の活動報告

(1) 支部集会の開催

2005年度の支部集会は、2006年6月24日(土)・25日(日)に、広島大学宇宙科学センターの川端弘治さん(会員)を世話人代表として、同センター附属東広島天文台(広島県東広島市)で開催した。東広島天文台は、集会のひと月前に完成記念式典を終えたばかりの新しい施設である。

本集会に先立ち、同会場では「中四国地域における天文学教育・研究及び天文普及の連携へ向けて」と題したミニワークショップが開かれ、2005年度の支部集会はこの集会と連携を図ったものである。このため参加者は40名(うち非会員18名)に達し、中国四国支部の集会としてはこれまでで最も多く、発表も10件と非常に充実した集会になった。会期中には同天文台の「かなた望遠鏡」(有効径1.5m、国立天文台・旧赤外シミュレータ)の見学、4次元デジタル宇宙シアター(国立天文台4D2Uプロジェクト)の上映会があり、24日夜には懇親会を開催した。例年どおりの有意義、かつ楽しい集会となった。(報告の詳細は、天文教育 2006年11月号に掲載予定)

(2) 支部会議

2005年8月の年会時(西はりま天文台)の支部会では、当該年度の支部集会の開催場所と時期、翌年度(2006年度)の開催候補地について、2006年6月の支部集会(東広島天文台)では、翌々年度の開催候補地についても協議した。支部集会の開催地は、おおむね広島県 岡山県 香川県 愛媛県 鳥取県 島根県 山口県の順となること(会員数が少ない徳島県、高知県については、可能な時点で随時開催)を再確認した上で、2006年度は高知県での開催を決定し、2007年度は岡山県での開催を予定することとした。

(3) 会員数

中国四国支部は、2001年度に中国支部と四国支部が合併して誕生した。2005年度は中国四国支部としては5年目になる。この間に、支部会員は49人・3団体(2001年2月)から、63人・2団体(2006年6月末)へと順調に増加している。

(4) 支部メーリングリストの拡充

中国四国支部では美星天文台の御好意により、支部会員のメーリングリスト(tenkyo-cs ML)を運用している。会員相互の連絡をより緊密に行うため、2004年度からMLへの参加者増加に努めている。2005年度は全支部会員へ、各自のアドレス確認やMLへ参加を呼びかけるための葉書を出した。その結果、参加会員が38人(2004年度末)から45人(2005年度末)へ増加し、参加率は71%になった。

2006年度の活動計画

2006年度の支部集会を、山本真行・新支部長(高知工科大学)を世話人として、高知県で開催することとして準備を進めている。会場と時期は世話人を中心に検討中である。